

企画展

くらしの うつりかわり展

— 人と道具のあゆんできた道 —

2026

会 期

1.20^(火) ▶ 3.15^(日)

休館日：毎週月曜日（2月23日（月・祝）は開館）

開館時間

9時30分～17時30分（入館は17時まで）

観 覧 料

大人200円、大学・高校生150円、
中学生以下無料

※20名以上の団体で2割引

※65歳以上の方は半額。

身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・

ミライID手帳提示の方と介護者1名は半額

※シニアいきいきパスポート提示で無料

主 催

明石市立文化博物館

協 力

兵庫県立図書館・あかし市民図書館

明石市立文化博物館

〒673-0846 明石市上ノ丸2丁目13番1号 TEL:078-918-5400 FAX:078-918-5409

SDGs未来安心都市・明石
いつまでも すべての人に やさしいまちを かんがえて



企画展

くらしのうつりかわり展

— 人と道具のあゆんできた道 —

毎年恒例の昭和のくらしを振り返る展覧会「くらしのうつりかわり展」、今回は「人と道具のあゆんできた道」と称して、明石とその周辺では明治時代からどのような歴史や経過があったのか、これまでの道のりを振り返って紹介します。約150年前から、日本は近代化の道を歩んできました。電灯がとまり、鉄道が走り、小学校ができるなどの生活と制度がはじまり、今に続いています。

本展では、今までの総集編とし、昨年好評をいただいた多聞新八氏の絵とともに、明治時代から昭和時代までの電気やガス、水道の普及や道路・通信などの整備と、それによりどのように道具や生活がうつりかわってきたのかを展示します。

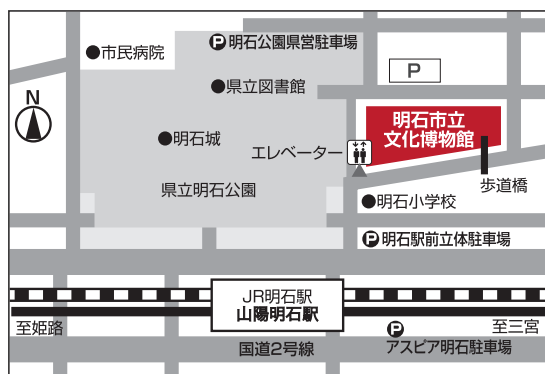
変化し続ける世界のこれからの姿を考えるきっかけにいただければ幸いです。




関連イベント

※高校生以上の方の各イベントのご参加には、当日の観覧券が必要です。
※申込不要

- ① **おっちゃんの紙芝居**
 【日 時】2月1日(日)、15日(日)、21日(土)、3月7日(土) いずれも14時～(各回30～40分程度)
 【場 所】1階体験学習室 【定 員】各回40名
 【演 者】阿部 元則 氏(紙芝居師) 当日先着順。13時より整理券を配布。定員に達し次第受付終了。
- ② **昭和ノスタルジーコンサート&朗読「音色とことばでたどる昭和の記憶」**
 【日 時】2月14日(土) 13時30分～(1時間30分程度)
 【場 所】1階体験学習室 【定 員】40名
 【演 者】中村 祐子 氏(オルガン奏者)、あかし市民図書館(朗読・本紹介)
- ③ **ワークショップ「足踏み式ミシンを使って布を縫ってみよう」**
 【日 時】2月28日(土) 10時～12時、13時～16時(1回20分) ※ミシンの不調により1名ずつもしくはしばらくお待ちいただく場合もあります。
 【場 所】1階体験学習室 【定 員】同時に2名まで(対象:小学3年生以上)
- ④ **ギャラリートーク「昔の生活を聞いて、体験してみよう!」**
 【日 時】3月15日(日) 10時30分～、13時30分～(各回30分程度)
 【場 所】1階特別展示室



- **交通アクセス** 電車利用の場合／JR・山陽電車「明石」駅下車、北へ徒歩5分
お車利用の場合／第二神明「大蔵谷」出口より南西へ10分
第二神明「伊川谷」出口(東行きのみ)より南へ10分
- **有料駐車場(32台)** 1時間につき100円、1時間未満の端数は1時間とします。
※駐車台数が限られるため、公共交通機関、または近隣の有料駐車場(地図参照)をご利用ください。
※マイクロバスなどのご来館は、事前にお問い合わせください。

明石市立文化博物館

(指定管理者:小学館集英社プロダクション・鹿島建物共同事業体)
〒673-0846 明石市上ノ丸2丁目13番1号
TEL:078-918-5400 FAX:078-918-5409
URL:<http://www.akashibunpaku.com/>
X:@akashibunpaku



ホームページ